

◎「会員だより」

会員になってから40年程度になりますが、時代と共にマニュアルや指針が変わる中、アーカイブとしての月刊「建設」誌の大切さを感じながら読ませて頂いています。

松本和信（地方整備局勤務、59）

7月号の「特集（社会資本の戦略的な維持管理）」はインフラの予防保全等に関する内容でした。私の勤務先でも多大なインフラを抱えているにも関わらず建設部門と比べて維持管理部門は圧倒的に人員が少ないです。今後、増え続けるインフラと維持管理に対応するため、建設時から維持管理を考えた構造などが重要になると思います。

匿名希望

7月号の「あーきてくと通信」で、つくば市のまちづくり勉強会の様子が写真付きで紹介されていましたが、参加者がテーブルに身を乗り出して議論するほどの熱心さが伝わってきて、印象的な写真でした。

匿名希望（都道府県勤務、52）

7月号の「事例から学ぶ現場力の向上」を読んで、工事用道路で借地した田畑の表土の戻し方にまで気をつけないといけないことがわかり、非常に勉強になりました。

田中秀典（市町村勤務、37）

8月号の「特集（令和元年度全建賞）」で、面識のある方が谷口・谷口功労賞などを授賞されていると仕事の励みになりますね！

匿名希望（市町村勤務、51）

8月号の「特集」の全建賞を受賞した事業の評価ポイントは、実務の参考になります。特に、「特定のインフラに係わらない公共事業全般に関する取り組み」は、モノづくり以外の先進事例であり、今後の土木の魅力を伝えるきっかけになると感じました。

匿名希望（都道府県勤務、52）

毎年この時期に全建賞の特集を見る度に、全国の技術者同様の頑張りに刺激を受けています。またこれらの好事例を実際に見学できる研修会も続けていただきたいと思います。

匿名希望（都道府県勤務、50）

8月号の「特集」は、道路、都市など、部門ごとの事業が紹介されており、それぞれの最新の技術を学べるほか、現在の建設業が、社会経済の発展に寄与していることを知ることができます。全国の建設に関する取組の掲載を今後も期待しております。

匿名希望

8月号の「上徳不徳」に建設国債で公共事業を行う場合の解説が具体的に書かれていました。大石会長の説明が分かりやすく、良く理解できました。

匿名希望（都道府県勤務、40代）

日々技術が進化し、様々な新しい工法や手法が開発される中、月刊「建設」でそのような技術を知ることができ、知見が広がります。

匿名希望（高速道路会社勤務、30）

毎月、「表紙」の写真を楽しみにしています。知らない場所が掲載されれば行きたくなるし、知っている場所でも綺麗に撮影されていたり、通常見られない場所の写真だと興味深いです。

匿名希望（都道府県勤務）

「技術資格試験合格体験記」は筆記試験などの対策が体験をもとに詳細に書かれていて参考になります。毎月、続けて下さい。

古賀忠直（地方整備局勤務、52）

「災害査定留意点」は、具体的な事例が詳しく解説されていて実際の査定現場で役に立つので、毎回コピーして災害査定時に持参しています。

匿名希望（地方整備局勤務、52）

「基礎から学ぶインフラ講座」は、若手職員にとって大変役立つと思いますが、今さら聞けないような制度や基準などの基本がコンパクトにまとめられており、中堅職員にとっても参考になる連載だと思います。

匿名希望

技術の継承が課題となる中、コロナ禍で数々の研修が中止となり、危惧しています。これからはオンラインによる講座や研修なども視野に入れて企画していくべきと考えます。

匿名希望（市町村勤務、33）

全建を今後も発展させていくため、退職者の会員を増やすのも考えるべきで、全建支会の紹介ページを載せることもひとつの案だと思います。

匿名希望（元都道府県勤務、73）

職場で建設系公務員賠償責任保険について、話題に上ることが増えてきました。保険の適用について想定される具体的な事例などを詳しく紹介していただけると幸いです。

匿名希望（都道府県勤務、47）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

